

令和7年度まちづくり推進住民会議「全体会議」記録書

1. 日 時 令和8年2月28日（土）午前10時00分～11時56分

2. 場 所 エコセンター2000 エコホール

3. 出席者 ○一般出席者 83人 ※前年度75人
○網走市出席者 20人
(市長、副市長、教育長、企画総務部長、企画総務部参事監、
市民環境部長、健康福祉部長、健康福祉部参事監、
観光商工部長、農林水産部長、建設港湾部長、庁舎整理室長、
水道部長、学校教育部長、社会教育部長、消防長、
市民環境部次長、財政課長、企画調整課長、広報広聴係長)
※下線は説明・発言者
○町連出席者 9人
合計 112人 (前年度104人)

4. 会議内容

(1) 開 会 網走市町内会連合会事務局次長（司会者）

(2) 挨 拶 町内会連合会会長 10:00～10:03

網走市長 10:03～10:06

(3) 会 議

【説 明】

①令和8年度予算案の概要について（10:06～10:35）

意見交換（10:35～10:55）

②網走地区消防組合消防本部庁舎建て替えについて（10:55～11:05）

意見交換（11:05～11:10）

③旧庁舎跡地の活用策について（11:10～11:20）

意見交換（11:20～11:25）

④その他（全体を通しての意見交換）（11:25～11:55）

(4) 市長まとめ挨拶（11:55～11:56）

5. 質疑など

(1) 令和8年度予算案の概要について

①大学給付型奨学金について

(参加者)

社会貢献を志す大学進学予定者に対して給付型奨学金を支給とあるが、具体的にどのような学生を対象としているのか。

(学校教育部長)

市内企業からの寄附に基づき、医学部など収入の面で学費が高い学部に行く際に、援助が受けられない生徒を対象に、給付型で奨学金給付を行います。

(参加者)

医学部など学部が限定されるのか。

(学校教育部長)

学部を限定するものではありませんが、社会貢献について志が高い学生を選考し、学費を支援するものです。

(市長)

ご寄附いただいた方の趣旨として「大学に進学して土木技術職や医療従事者になりたいが、学費が払えず断念する」といったことがないように給付をするものです。

「大学に行って何がやりたいか」を選考基準とするため、社会貢献という表現としており、給付に当たっては、その都度、面接で学生の思いを聞き判断をしたいと思えます。

(参加者)

選考するということか。

(市長)

貸付ではなく、給付なので選考を行います。

(参加者)

金額が足りないのではないか。

(市長)

月10万円、年間120万円の給付で、学費全額の給付は難しいですが、足しにしていたければと思います。

ご寄附いただいた市民も、学生時代に自身がした苦勞を今の子どもに感じてほしくないとの思いで、市に寄附をされ、基金として積むことで学生への支援につなげていく制度としています。

②今後の高校のあり方について

(参加者)

高校無償化に伴い、高校進学タイミングで網走を離れる子どもが多くなるかもしれないが、各学校の差別化も含めてどう対応するか。

(市長)

昨年では、市内中学校の卒業生約80名が市外に進学するも、市外から80名超の学生が網走の高校に進学しており、ほぼ同数の状況です。

高校無償化についての影響は現時点ではわかりませんが、高校の今後の方向性や魅力向上について教育委員会で議論しているところですので、教育長よりお答えします。

(参加者)

計画や検討事項について、決まったときに市民にどう周知するのか。

(市長)

中学生含めた生徒の保護者に説明が必要と考えます。

(教育長)

現在、南ヶ丘高校で4間口、桂陽高校で4間口の計8間口ですが、将来的に5間口程度に減る可能性があり、さらに高校無償化に伴う課題に向けても議論が必要と考えます。

高校2校存続のため、南ヶ丘高校では大学進学や農大と連携した部活動、予備校との連携に特色を、桂陽高校では地域に根ざした活動、将来の自身のキャリアにつながる取り組み、花火大会企画への生徒参加など達成感を感じられる点に特色を、ということで学校関係者よりご意見をいただいています。

20名以上の欠員が出ると間口削減対象となり、現在、桂陽情報処理が4年連続定員割れのため、危機的状況ではありますが、今後意見をまとめて、道教育委員会へ話をしていきたいと思っています。

(参加者)

子どもが減っており、今は志願すればみんな受かる状況。将来、網走から子どもがいなくなることが懸念される。

(教育長)

魅力ある高校を創りたいという思いで取り組んでまいります。

③市内小中学校の再編について

(参加者)

先日、三中で市内小中学校の再編の説明があった。

将来の展望がこれから示されると思うが、学校再編に関する今後のスケジュールはどうなっているか。

(学校教育部長)

現在、PTA役員や学校運営協議会に説明をしているところであり、新年度事業として検討協議会を立ち上げ、学校再編に係る基本計画を策定し、今後の学校の必要数などを定める予定です。

(参加者)

できれば市民も参加できる会議にしてほしい。

(学校教育部長)

学校関係者、関係地域の方や、就学前の児童保護者を想定しており、市民公募の実施も念頭としています。

(参加者)

中高一貫教育の可能性も含めて、しっかり議論してほしい。

④コミセンの改修について

(参加者)

西コミ長寿命化は具体的にはどういった改修を行う予定か？

(市民環境部長)

年数が経過した屋根、壁、排煙窓の改修を行い、施設の長寿命化を図ります。

⑤ごみ収集・分別について

(参加者)

高齢者が多く、折りたたみ式ごみステーションは持ち上げが大変。ごみについては、将来的には戸別収集の形が望ましいかと思う。

町内会資源物収集の補助金単価を一定にしてほしい。

固定式ごみステーションへ変更しても、補助が続くよう取り扱ってほしい。

分別に慣れてきたのに、ごみを燃やすのはいかがかという意見が出ているので配慮してほしい。

(市民環境部長)

分別を減らしてほしいなど、さまざま要望があるのは認識していますが、今後どうするかを総合的に判断し、ごみの集約化を含めて検討しているところです。

いただいたご意見は受け止め、今後検討させていただきます。

(参加者)

固定式ごみステーションに変えたところ、カラスやキツネに荒らされなくなり、収集日でないのにごみを入れる苦情もなくなったので、固定式を勧めるのが良いと思う。

(市民環境部長)

固定式ごみステーションの助成を進めていく予定です。地域ごとに課題は異なりますが、事業を進めながら、皆さんの意見を取り入れ検討していきたいと思います。

(参加者)

ごみステーションの更新の補助がなくなった。今年だけ来年だけ、でなく継続してやってほしい。

(市民環境部長)

ご意見として受け止めたいと思います。

(2) 網走地区消防組合消防本部庁舎建て替えについて

⑥消防組合について

(参加者)

網走消防組合と網走消防署の違いはなにか。

(消防長)

一部事務組合として運営しており、消防の事務の一部を網走市と大空町で共同で行っているのが網走消防組合であり、各市町村で消防を運営しているのが、網走消防署、大空消防署になります。

(参加者)

小清水町や清里町は入っていないのか。

(消防長)

小清水町、清里町は斜里地区消防組合として運営しております。

(3) 旧庁舎跡地の活用策について

⑦ 合同庁舎の誘致について

(参加者)

合同庁舎の誘致について現実味がないように思う。旧庁舎の敷地面積はせまく、開発建設部1棟で限界なのでは。

(建設港湾部長)

エリアマネジメント協議会で、旧市役所跡地の約5000㎡で十分建設ができるのではないかとご回答をいただいたところです。

(参加者)

道の総合庁舎が、昔は網走支庁と言われていたが、名称変更の流れで網走を使うのはダメで、オホーツクを使うよう茶々が入り、今の名称になった。

開発建設部を移転するとなったら同じように横槍が入るのでは。

北見への開発建設部の移転の話も過去にあったようだが、職員の住居問題などで流れてしまったと聞いているが、その辺もどうなのか。

(市長)

開発建設部の北見への移転や名称変更の話は聞いたことがなく、いただいた質問に明確に回答するものではありません。

(4) その他（全体を通じた意見交換）

⑧学校再編について

（参加者）

学校再編について、将来の人口動態を見ながら学校のあり方を考えるのは必要なことだが、親が送り迎えをする前提での学校配置がいいものかどうか、スクールバスで送迎をすることも、その体制が持続可能かどうか、効率的には学ぶ場を一箇所に集めるのが良いが、住居エリアから離れた場所に学ぶ場があるのがいいかどうか、そういう視点での検討も考えていただければありがたい。

また、地域応援商品券について、お米券で1万円分の国の財源と聞いたが、ふるさと納税を充てていると聞いた。財源内訳はどうなっているかお聞きしたい。

（市長）

商品券については、国の物価高騰対策で市民1人当たり13,000円程度の交付金が充てられています。

ふるさと納税は当初22億円で予算化していたが、おかげさまで全国の皆さんからご協力いただき、27億円の決算見込みとなっておりまして、このうちの一部である1億円を市民に還元する形で追加し、1人17,000円の商品券としました。

この間の物価上昇率が3.2～3.3%となっており、1人あたり50万円の消費での物価上昇分が17,000円となるので、4人家族であれば、200万円消費相当分の物価上昇への対策ができる計算となっています。

学校再編については、いただいたご意見は全て論点になると思っており、今後、論点を整理した上で議論がなされるべきかと思えます。

（教育長）

現在、基本的な考えをまとめたところです。

子どもの数が減っている状況や、校舎の老朽化の問題がありますが、社会性や合意形成などについて学ぶ機会の確保が必要であり、いただいた通学手段の問題や、学校の場所はどこがいいか、についてはしっかりと議論が必要と考えます。

貴重なご意見として受け止め、学校関係者やPTAなどと連携し、今後、検討していきたいと思えます。

⑨地域応援商品券について

(参加者)

石破前内閣時代に一律2万円給付の考えが出され、バラマキだと不評だったが、そうしたことが想起されるのではないかと懸念される。

ふるさと納税の制度について申し上げるつもりはないが、特定財源であるので、活用方法については色々な角度から検討が必要なものかと思う。

(市長)

物価高騰対策として市民の支援として行ったものですが、貴重なご意見として受け止め、施策の構築に努めたいと思います。

⑩パブリックコメントについて

(参加者)

さまざまな事業でパブリックコメントをやっているが、効果があったのか疑問。

宿泊税は3件、まちひとしごと創生は2件、廃棄物処理計画は1件しか意見がない。見ていない、関心がないといえればそれまでだが、やるならしっかり意見を吸い上げる仕組みが必要かと思う。

(市長)

そのとおりだと思います。

庁舎建て替えの際、100件ほど意見をいただいたが、市民の生活に距離のあるものは意見が出ないことが多いので、パブコメをやっていることの周知について内部で検討したいと思います。

⑪総合防災訓練について

(参加者)

巨大地震を想定した総合防災訓練とあるが、こういったイメージのものか。

また、地域の自主防災組織でも参加できるのか。

(企画総務部長)

訓練自体は開発建設部、海上保安署、北海道、警察、消防などの行政機関によるイメージで、南出張所で行い、一般市民の訓練参加も考えています。

これから防災会議を開き、さまざまご意見いただきながら内容を構築していくので、参考とさせていただきたいと思います。

(参加者)

地域の自主防災組織のなり手がどんどん減っており、学びの場をつくっていただけるのはありがたいので、よろしくお願いします。

⑫食育の取り組みについて

(参加者)

今年度、下國シェフを呼んで、あばしりの食材を使った料理コンテスト「ABA-1 グランプリ」があったが、その後それを活かした取り組みはあったのか。

料理関係者から良い取り組みだとコメントいただいたが、その後どうするかが大事ともコメントいただいた。

(健康福祉部長)

食育推進の一環で、下國シェフを審査委員長として地元食材を使った料理コンテストを実施しました。

その後については、市民からいただいたレシピを市公式サイトで公開し、市民も活用できることとしたが、取り組みとしてはそこにとどまっています。

この取り組みは食育の一環として行っていますので、次年度は違う形の取り組みを進めたいと考えています。

⑬花いっぱい運動について

(参加者)

花いっぱい運動がとても良い取り組みと思うが、市街地で担い手がいないという声も受けている。市にはそうした声は届いているか。

(市民環境部長)

近年、参加町内会の減少や担い手の高齢化により、現在は80団体ほどの参加になっています。花いっぱい運動は、町内会連合会協働の取り組みであり、今後の進め方についてはご意見いただきながら検討したいと思います。

(参加者)

協働は大事だと思うが、マンパワーが必要なものもある。その時期その時期で対応をお願いしたい。

⑭どこバスについて

(参加者)

どこバスを利用しており、昨年の全体会議で、通院している整骨院へのバス停の増設をお願いしたところ、希望通りに設置いただいた。

同様にどこバスを利用している高齢者の皆さんからも助かっているという声を聞いており、どこバスについては、今後とも継続してほしい。

どこバスの増車についても、観光のオフシーズン時には市民も使えるようにしてほしい。

(市長)

どこバスを観光客が多く使っているという実情もあり、次年度、宿泊税を活用しどこバスを2台増車する予定です。市民の不便解消にもつなげたいと考えています。

⑮消防新庁舎について

(参加者)

消防新庁舎について、消防車の出入りに係る部分の歩道の段差は切り下げるのか。

来庁者はどこから庁舎に入るのか。

図面では新庁舎裏に樹木があるようだが、これから植えるのか。

また、除雪の雪はどこに置くのか。

(消防長)

消防車出入りの際は歩道との段差を切り下げる予定です。

来庁者は、東側に当たる箇所からの出入りを予定しています。

除雪は北西側の訓練スペースに、一時的に雪を置く予定で考えています。

(建設港湾部長)

現在の中央公園の樹木は伐採し、来年度、新たに植樹を予定しています。

以上